

『ビーチの日』記念日登録証授与式

【式次第】

・「ビーチの日」登録証授与式 挨拶

朝日 健太郎（NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長）

・登録証授与式

加瀬 清志 様（一般社団法人日本記念日協会代表理事）

朝日 健太郎（NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長）

・フォトセッション

・囲み取材

【参加メディア】

no	放送局・新聞社名	部署	媒体名
1	株式会社港湾新聞		港湾新聞
2	都市計画通信社		港湾空港タイムス
3	株式会社旭屋出版		月刊カフェレストラン 近代食堂
4	株式会社東宝	宣伝部	
5	神奈川テレビ		
6	株式会社KADOKAWA		
7	上杉企画		
8	柴田書店		
9	夕刊フジ		
10	四国新聞		
11	テレビ朝日		スーパーJチャンネル
12	新潮社		週刊新潮 他
13	日経BP		日経ビジネス
14	ニッポン放送		
15	産経新聞社		産経新聞

【『ビーチの日』ロゴマーク】



Press Release



平成29年1月26日
NPO法人日本ビーチ文化振興協会

～“なみのいい日”として～ 7月31日が『ビーチの日』として登録認定されました。

NPO法人日本ビーチ文化振興協会(理事長 朝日健太郎 所在地:東京都中央区新川)は、2003年から「海辺の通年活用による地域活性」を目的に、ビーチスポーツを通して、人と海辺のかかわりを深め、地域の活性化につながることを目的にした、ビーチスポーツ大会の実施、ビーチでの健康プログラム構築、そしてビーチで繋ぐ観光交流など全国の海辺の多目的活用および啓発活動を行っております。

この度、さらなる“ビーチ”に関する意識向上を目的として、「なみのいい日」の語呂と7月第三月曜日の「海の日」と8月11日「山の日」の中間日でもある7月31日を「ビーチの日」として、一般社団法人日本記念日協会に申請し、記念日として正式に登録認定されました。本年度、7月31日(月)には、ビーチスポーツやビーチ関連に携わる男子の中から『ビーチボーイズ』を選出し、ビーチを盛り上げていく企画を予定しております。また、併せてビーチスポーツの祭典も予定しており、毎年の「ビーチの日」が楽しい日として固定化されるように推進していきたいと思っております。

今後も日本ビーチ文化振興協会は、全国各地の自治体と協力し、ビーチ・マリンスポーツを通して 美しいビーチの環境を整え、オールシーズン賑わうビーチ文化を形成することを目指してまいります。

7月31日「ビーチの日」を制定

「なみのいい日」の語呂と7月第三月曜日の「海の日」と8月11日「山の日」の中間日でもある7月31日を「ビーチの日」として制定し、ビーチ活動を展開していきます。

2017年7月31日(月)「ビーチの日」予定

■『ビーチボーイズ』コンテスト

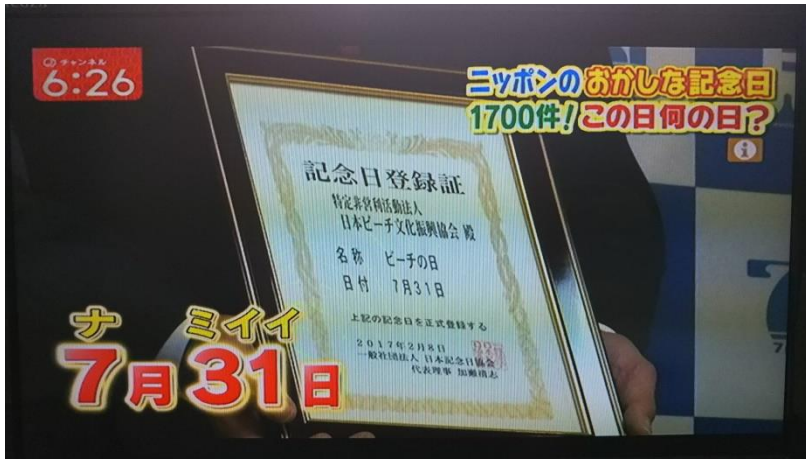
ビーチスポーツやビーチ関連に携わる男子の中から『ビーチボーイズ』を選出し、ビーチを盛り上げる企画を予定しております。

■『ビーチスポーツの祭典』

毎年の「ビーチの日」が楽しい日として固定化されるようにビーチスポーツを展開、また食のイベントなどを推進していきたいと思っております。



プレスリリース問い合わせ先
特定非営利活動法人 日本ビーチ文化振興協会 広報担当 廣瀬
TEL: 03-3552-1171 FAX: 03-3552-1220 E-MAIL: info@jbeach.jp



2月14日(火)放送 テレビ朝日「スーパー」チャンネル

2017年(平成29年)2月13日(毎週月曜日発行) 港 湾 空 港 タ イ ム ス

朝日理事長と加瀬記念日協会代表理事

協文
ビーチの日制定、7/31
海辺の通年活用浸透へ

NPO法人日本ビーチ文化振興協会(朝日健太郎理事長、ビ文協が、(一社)日本記念日協会に申請していた7月31日を「ビーチの日」とする記念日が正式に認定登録

され、2月8日に東京都内で登録証授与式が開催された。ビ文協では、同記念日に合わせてビーチ等の海辺から地域活性化に繋がる取組みを進めていく方針。記念日の市民への浸透を図るとともに、ビーチ文化の形成を目指していく。

ビーチの日は「なみのいい日」の語呂ど、7月第三月曜日の「海の日」と8月11日「山の日の中間日であることから、7月31日に位置付けた。ビ文協は2008年に「海辺の通年活用による地域活性化」等を旨として設立した組織で、人と海辺の関わりを深めることを目的に、ビーチスポーツ大会や、健康プログラム、観光交流の取組みなど全国で海辺の多目的活用や啓発活動を実施している。

記念日登録証授与式に

先立ち挨拶した朝日理事長は、これまで実施してきた取組みを紹介するとともに、協会発足15周年を迎えるにあたり活動を拡大していく方針や「ビーチの日」を制定した経緯等を説明し、「日本全国の人々にとって、海を感じることでできる素敵な日となるよう精進していきたい」と語った。

また式典後には取材に応じ、ビーチの日の取組みとして、「ビーチにおいて新能(たぎのう)や、ビーチボーイズコンテスト、食に関するイベント等を計画している」と述べたほか、今後全国各地の自治体や関係者等と協力し、地域特性を活かしたオールシーズン賑わう海辺・ビーチの形成を進め、地域の活性化に寄与していきたいとの意気込みを語った。

「ビーチの日」(7月31日)登録認定 記念日登録証授与式・報告会開催

NPO法人日本ビーチ文化振興協会(理事長・朝日健太郎氏)は、7月31日を「ビーチの日」として、記念日として正式に登録認定されたことを受けて、2月8日(火)午後6時半から、千代田区蔵前が関の東海大学校友会35階で、認定授与式を行った。

ビーチに関する意識向上を目的として、「なみのいい日」の語である、7月31日を「ビーチの日」として(社)日本記念日協会に申請し、認定されたもの。7月第3月曜日の「海の日」と、8月11日の「山の日の中間日」でもある。

同協会は2003年から「海辺の通年活用による地域活性化」を目的に、ビーチスポーツを通して、人と海辺のかかりを深め、地域の活性化につなげることを目的に、ビーチスポーツ大会の実施、ビーチでの健康プログラムの構築、そしてビーチを盛り上げる企画やビーチスポーツの祭典も予定しており、毎年の「ビーチの日」が固定される。

「海辺の通年活用による地域活性化」を目的に、ビーチスポーツを通して、人と海辺のかかりを深め、地域の活性化につなげることを目的に、ビーチスポーツ大会の実施、ビーチでの健康プログラムの構築、そしてビーチを盛り上げる企画やビーチスポーツの祭典も予定しており、毎年の「ビーチの日」が固定される。



朝日理事長



大村会長



菊地国土交通港湾局長

「ビーチの日」(7月31日)の語をめぐり、世界を俯瞰し、このチャレンジャーに挑戦します。ビーチゲームズ日本振興プロジェクトにより、2014年、ビーチスポーツ国際大会の日本誘致を旗揚げしました。世界中の日本人のビーチに集まる、海辺の人々にビーチスポーツの魅力を伝えるべく、海辺の良さを伝えていく活動を行っています。このように、我々は海辺の海辺文化の発展活動に15年行ってきました。これからも海辺文化の発展に邁進し、今年はいよいよ「ビーチの日」の空間があることを知っていただきたく、新チャレンジをします。NPO法人日本ビーチ文化振興協会設立15周年記念事業として、日本記念日協会認定「ビーチの日」の制定は、一年を通じて、海を感じる事ができる素敵な日となるよう我々も益々邁進して入りますので、ぜひ「ビーチの日」を大切にしてください。

続いて加瀬清三(二社)日本記念日協会代表理事が、朝日理事長に記念日登録証を授与し、満場の参加者から拍手が起った。

次に加瀬日本記念日協会代表理事が「ビーチの日」の日付の決め方を説明し、あいさつをした後、加瀬日本記念日協会代表理事、大村副会長、朝日理事長、佐伯美奈子文化振興協会会長、朝日NPO法人日本ビーチ文化振興協会代表理事、佐伯美奈子文化振興協会代表理事、佐伯美奈子文化振興協会代表理事が登壇して記念撮影を行った。



錦織鹿嶋市長(中央)に感謝状贈呈



記念日登録証授与の様相

引き続き同会場では、活動報告会が行われ、朝日理事長、大村副会長、朝日理事長、佐伯美奈子文化振興協会会長、朝日NPO法人日本ビーチ文化振興協会代表理事、佐伯美奈子文化振興協会代表理事が登壇して記念撮影を行った。

引き続き同会場では、活動報告会が行われ、朝日理事長、大村副会長、朝日理事長、佐伯美奈子文化振興協会会長、朝日NPO法人日本ビーチ文化振興協会代表理事、佐伯美奈子文化振興協会代表理事が登壇して記念撮影を行った。

タリフジ 2017年(平成29年)2月21日(20日発行)

<第三种郵便物認可>

ビーチを盛り上げるイベントを実施

NPO法人日本ビーチ文化振興協会が提唱する、7月31日の「ビーチの日」が正式に制定された。

同協会は2003年より「海辺の通年活用による地域活性化」を目的に、ビーチスポーツ大会の実施、ビーチでの健康プログラムの構築などの海辺の多目的活用と啓発活動を行ってきた。



「なみのいい」日にちなみ7月31日「ビーチの日」に制定

今回、「なみのいい日」の語呂と、7月第3月曜日の「海の日」と8月11日の「山の日の中間日」でもあることから、7月31日が「ビーチの日」として制定された。

初となる今年の「ビーチの日」には、ビーチスポーツやビーチ関連に携わる男子の中から「ビーチボーイズ」を選出し、ビーチを盛り上げる企画やビーチスポーツのイベントなどを実施する予定。

会見に出席した日本ビーチ文化振興協会の朝日健太郎理事長は「ビーチを感じる事ができるすてきな日となるように精進していきたい。アジアのみならず世界中の人に日本のビーチに来ていただいて、日本のビーチを楽しんでほしい」と抱負を語った。

タリフジ 厳選インフォメーション



一般社団法人
日本記念日協会
Japan Anniversary Association



記念日の検索



記念日協会について



記念日を登録する



お問い合わせ



記念日の申請



記念日の聖地



誕生日の丘



お問い合わせフォーム

TEL
FAX

0267-68-2465



申請書ダウンロード

2017年2月9日

「ビーチの日」（7月31日）の記念日登録延授と式が、東京の麹が関ビルで行われました。



海に囲まれた島国の日本は古来より海の恩恵を受けてきました。その海と陸の境目であるビーチ（砂浜）が過年で利用され活性化につながるように、ビーチの大切さを多くの人に知らせるを目的に、特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会が制定した「ビーチの日」。その記念日登録延授と式が東京・麹が関ビルで行われました。

はじめに朝日理事長から日本ビーチ文化振興協会が目指すものについてのスピーチがあり、記念日を登録した日本ビーチ文化振興協会の朝日理事長（写真・左）に日本記念日協会の加藤清志代表理事（写真・右）から記念日登録証が授与されると、会場を盛りめたメディアや関係者の方々から大きな拍手が起きました。

そのあと加藤清志代表理事が「ビーチの日」の日付の決め方の巧みさを評価するスピーチを行いました。それは7月31日の「ビーチの日」は国民の祝日である「海の日」（7月第3月曜日）と「山の日」（8月11日）の間にあり、ビーチ（砂浜）はまさに海と山の間にあるものという地理的な意義を記念日にした点です。もちろん、7月31日で「涼（73）がい（1）い」とお話し合わせが大きな出来なのですが、夏はビーチが賑わう時期ということも含めてなかなかアツい日付となりました。

それにしても朝日理事長は元バレーボールとビーチバレーの日本代表選手なので臂丈の大きいこと、183センチの加藤代表理事が小さく見えるツーショットとなりました。

記念日
協会に
ついて

沿革
主な活動
運営費

その他

個人情報保護方針
サイトマップ

記念日
を登録
する

登録制度と手順
登録作業と登録料
申請書ダウンロード

お問い合わせ
先

お問い合わせフォーム
TEL/FAX 0267-68-2465

記念日
協会の
制作物

記念日協会の本とカレンダー

『ビーチの日』登録証授与式



理事長朝日 健太郎 挨拶



「ビーチの日」制定記者発表を行いました



一般社団法人日本記念日協会
代表理事 加瀬 清志 様



「ビーチの日」記念日登録証授与



記念撮影



囲み取材